

報道関係者 各位

新パソコン販売体系「レンタル・バリュー」を発表

2003年12月22日

加賀電子株式会社

株式会社ケイエル・レンタル

エレクトロニクス総合商社である加賀電子株式会社(証券コード:NO.8154、本社・東京都文京区、社長・塚本勲、以下加賀電子)と、中堅企業向けにレンタルを通じてTCO(Total Cost of Ownership)削減の提案を行っている株式会社ケイエル・レンタル(本社・東京都中央区、社長・花本拓也、以下KLR)は、2004年1月5日から、レンタルとリサイクルを組み合わせた新しいパソコンの販売体系「レンタル・バリュー」を開始します。

「レンタル・バリュー」は、KLRがお客様にレンタルしたパソコンを、加賀電子がレンタル期間満了時に買い取りを予約し、関連会社にて整備後、中古パソコン市場へ販売する体系です。発売以来「黒い筐体」でイメージを統一し、堅牢性が高く、中古でも値崩れしにくい日本アイ・ビー・エム株式会社(以下日本IBM)製のノートパソコン「ThinkPad」を対象にします。

「レンタル・バリュー」の最大の特徴は、中古パソコンとして、再度販売できることを見込んでいる為、買い取る場合に比べて支払総額が2割程度安くなることです。

加賀電子は、グループ会社を含め、中古パソコンを整備する技術を備え、また中古パソコンを販売する量販店への販路も持っています。KLRは、パソコンのレンタルにおいて、長期・短期ともに多くの実績があります。今回の協業は、レンタルの分野とリサイクルの分野で実績にある両社が協力することにより実現しました。

また、お客様がレンタルを希望された場合には、日本IBMのテレセールスを通じて「レンタル・バリュー」が利用できるようになります。

「レンタル・バリュー」の一例は、以下の通りです。

ThinkPad R40e CPU:P4-2.2GHz/MEM:256MB/DISK:40GB/COMBOドライブ/XP Pro

買い取り：201,000円

(本体179,000円 + 拡張クーリエ保守2年延長[合計3年]22,000円)

レンタル：162,000円

(3年レンタル/4,500円 × 36回払/動産総合保険適用[通常クーリエ相当3年間]含む)

< 「レンタル・バリュー」の特徴 >

- ・ リース期間は4年乃至5年が主流で、パソコンの場合実質的な耐用年数とマッチしないケースがあったが、「レンタル・バリュー」の場合レンタル期間を2年乃至3年に設定する為、常に新しいマシンへの置き換えが可能
- ・ リース契約でなく「レンタル契約」の為、月々の費用は経費処理でき、且つ、財務上の資産計上は一切不要
- ・ 保守（クーリエ対応）料金を含んだ価格提示

< お客様からのお問い合わせ窓口 >

加賀電子 情報機器事業本部 営業推進部 IBM 営業推進課 課長・平山 (03-3268-2107)

KLR 営業統括 営業第二部 取締役・小川 (03-5205-1332)

日本 IBM ダイアル IBM (0120-041-992)

以上

2003年12月22日

レンタル・バリュー 体制図

